


宮城県

1. 商品名等

商品名	パタ崎さんの『おいしさぎっしり』鹿島台風物詩御膳		
商品写真(イメージ等)			
商品説明(コンセプト等)	<p>大崎市鹿島台の農産物を食材にした、ご飯とおかずが9種類、松華堂弁当としてぎっしりと詰まっています。</p> <p>大崎市鹿島台の「環境保全米 しな いもつご郷の米と鮭」、「古代米」、「炊き込みご飯」、「ハンバーグ」、「きんぴらごぼう」、「かぼちゃのサラダ・レーズン入り」、「野菜の煮しめ」、「玉子焼きとほうれん草のおひたし」、「リンゴのコンポートとトマト」です。</p> <p>箱を開けるとイラスト入りのお品書きがあり、掛け紙には大崎市のゆるキャラ「パタ崎さん」をワンポイントとして活用しています。</p>		

2. 学校紹介

学校名	宮城県鹿島台商業高等学校	電話	0229-56-2664
住所	宮城県大崎市鹿島台広長字空師前44	FAX	0229-56-2461
担当者	青野 也寸志	伊藤 孝紘	森 友寿
URL	http://kasimadai-ch.myswan.ne.jp		
E-mail	chief@kasimadai-ch.myswan.ne.jp		

本校は、昭和25年宮城県南郷農業高等学校定時制分校として始まり、実業界で活躍できる人材育成と地域の要望から昭和44年4月分離・独立し県立2番目の商業高等学校として開校しました。

学校の教育環境は、大崎市鹿島台の北西部の高台に位置し、校地面積約83,000㎡、建物延べ面積約9,300㎡と、広大な敷地を有し商業高校特有の施設設備としては、第一情報処理実習室・第二情報処理実習室・総合実践室・マーケティング実習室等の施設が充実しています。

本校ではキャリア教育実践の原点である起業家教育について一層の充実を図り、オリジナル教材の活用や「起業家教育課題解決プログラム（KEP 鹿島台商業高校アントレプレナーシッププログラム）」による学校設定科目「地域ビジネスプランニング（2単位）」の実施とコミュニケーション能力の向上を目的に「地域イベントへの積極的な参加」や「商品開発」を行っております。

3. 実施科目等

科目名	広告と販売促進	単位数	3
対象生徒	第3学年	担当教員数	2名+（支援1名）

4. 予算関係(費用)

魅力ある県立高校づくり支援事業予算より約3万円を費用として材料を購入し試作を行いました。

5. 開発経緯等

平成29年度「広告と販売促進」では、広告や販売促進等に関する知識と技術を習得し、企業と消費者間のコミュニケーションや活動の意義や役割を理解し、販売に関連する活動を主体的、創造的に行う能力と態度を身に付けることを目的とし授業を計画しました。

授業計画は、大崎市鹿島台の食材を使用した大崎市鹿島台をPRするお弁当を企画し、11月の互市におけるお弁当の販売実習を目標に平成29年6月より取り組みました。

「第1章 販売促進」と「第2章 広告の概要」の単元に基づき、体験的に理解を図るため宮城県内や全国で販売されているお弁当の価格や内容を調査しました。その後、大崎市の農産物を食材に使用したお弁当という広告コンセプトに基づき、図書館やWebで調査しました。調査結果を基に弁当のお弁当箱を9つに区切った松華堂弁当に、ご飯、焼き物①、焼き物②、炒め物①、炒め物②、煮物、サラダ、デザート9種類を詰めた弁当と設定し、それぞれ1種類チームが企画し試作をしました。また、お弁当の名称については、大崎市鹿島台の食材がぎっしりと弁当に詰め込まれていること大崎市鹿島台の互市が地域の春と秋の風物詩として親しまれていることと、そして大崎市のゆるキャラ「パタ崎さん」の使用許諾を申請し「パタ崎さんの『まるごとぎっしり』鹿島台風物詩御膳」と決定しました。試作したお弁当を市役所の方にご覧いただき、お弁当のコンセプトと製造をお願いできる方を相談したところ、市内の竹谷加工部会様をご紹介いただきました。

ご紹介を頂いた竹谷加工部会の高橋会長様にご相談を申し上げたところ快くお引き受けくださいました。そこで、生徒が竹谷加工部会様から直接アドバイスをいただくアドバイザーミーティングを2回行うことができました。アドバイザーミーティングでは、お弁当の価格設定、購入層の明確化と互市を想定したターゲット、お弁当の具材の改善や具材の変更についてお話を頂き、生徒の意見を取り入れてくださいました。その後、具材の重さや大きさについて2回目の試作をし、2回目のアドバイスを基におかずを改善して竹谷加工部会様に御試食いただきました。

お弁当の掛け紙は、竹谷加工部会様から参考例として普段販売されているお弁当の掛け紙を参考用にいただき、アドバイスを基に大きな字でシンプルかつ豪華に見えるよう、広告デザインの技法を参考にラフスケッチを行い文書作成ソフトウェアで制作いたしました。その様子は新聞に掲載をお願いしました。完成品は大崎市長に試食をしていただき、互市では3日間とも30個を10分で完売いたしました。

6. 販売形態・期間

①
・
無

販売は、地域のイベントで本校が実施している販売実習にて販売しております。

7. 協力者等

①
・
無

竹谷加工部会（大崎市鹿島台）
しないもつご郷の米（大崎市鹿島台）
マルセンファーム株式会社（大崎市鹿島台）
アグリネット千（大崎市鹿島台）

8. 商標登録の有無

有
・
②

無

9. 今後の課題・展望等

大崎市鹿島台互市だけではなく、大崎市以外の地域におけるイベントにて販売実習し大崎市鹿島台のPRを行うことや、新たなお弁当の具材の組み合わせを考えることが課題となっております。